

# プロの歌手になるための活動

産業能率大学 情報マネジメント学部 川野邊研究室 4年 元根 ひなた 指導教員:川野邊 誠

## 活動背景

若者に「大人」になることへの希望を持ってほしい

&

大人に「子ども」に戻ることを恐れないでほしい



本活動者は作詞・作曲・歌唱を通して伝えたい

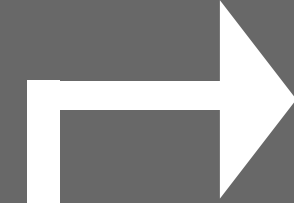


弾き語りの強みである  
自由な間の取り方を活かした演奏の追求・鍛錬が必要

+

オーディエンス自身の底にある気持ちを引き出す  
楽曲と説得力が必要

## 活動手法



音楽理論やギター奏法を学修



自身の作品、演奏に取り入れる



ライブでの演奏・歌唱で実践

場数を踏み、度胸をつけて楽曲に説得力を持たせる

## 目的

プロの歌手になること

## 活動実績



2025. 06. 29 町田タロー庵  
「S. P. N」

音楽の楽しみ方に正解は  
無いと実感した日。  
素の自分を見せて魅せるこ  
とが出来ると音楽があると気  
がついたライブだった。  
格好つけることを辞める決  
心がついた一夜。

2025. 09. 07 代官山NOMAD  
「50の扉」



2025. 07. 30 町田ThePlayHouse  
「Weekday Golden Hour」



会場を満員にしようと演者一同いつも以上に奮起したイベントだった。ライブハウスに足を運んでいただくことは駆け出しのミュージシャンにとっても難しいこと。それを日々積み重ねるライブ活動で痛いほど感じていたため本番の結果は見えていた。だからこそ、どうすればお客様に来ていただけるかを頭がよじれるほど考えた。このライブがきっかけでSNSの活用方法を見直した。なによりもお客様に来ていただけることがどれほど幸せなことを苦しいほど実感した。

2025. 09. 29 下北沢Big Mouth

「元根ひなたの負けてたまるか！」



自主企画でもワンマンライブでもないのに自分の名前がイベント名になった日。共演者の方、主催者の方、そしてお客様の愛を存分に感じたライブだった。今までの縁、これからの自分への期待を背負い歌った25分間。今まで歩んできた道は無駄ではなかったと感じた。終わってもなお、「負けてたまるか！」と強く思った。

ただの21歳大学生の  
元根ひなたを隠さずに出演した  
ライブが多かった6月・7月。  
出番はイベントの最後。  
温まりきった会場と戦うのは  
普段とは違う緊張感。  
汗だくになりながらうたう姿は  
いつもに勝る気迫を出した。お客様に  
「明日も頑張れる。強く生きる。」と  
言っていたが、自分が伝えたいことが  
やっと伝わったと実感したライブだった。

## 活動方針

- 本活動者が考える「プロ」とは -

全国を周り、全国に自分のうたを聴いてくれる人が居てライブに遊びに来ていただける状態。本活動者は、お金をたくさん稼ぐことは目的としていない。  
流行に囚われない芯のある自分らしい音楽をつくり、  
その音楽を求めてくれる人がたくさん居る状態を「プロ」だと考えている。

本活動者は、言いたいことを押さえつけながら生きることに疑問を感じている。  
また、言いたいことを言わないことが普通になっている人が居ることを  
もったいないと感じている。背景にある想いを全力で伝えるために、  
技量だけではなく知識そして、度胸をつけ、  
プロの歌手になるという強い意志を持って活動している。

## CD製作



2025. 08. 08 発売

1st Mini Album

「くさっても魅力的」

座右の銘“嫌われ者上等”の  
元根がうたう、人間へのラブソングを  
収録したはじめてのミニアルバム。  
コンセプトは「人間臭さ」  
自分の弱いところも、強いところも  
包み隠さず愛して欲しい。  
という想いで製作。

普段の演奏スタイルである  
アコースティックギターでの弾き語りのみ  
ならず、DTMを使用し  
より華やかに仕上げた楽曲も収録  
ライブとは異なる表現を味わうことが出来る  
1枚。

- 製作ミニエピソード -

楽曲は、自宅で録音・編集。  
ジャケット写真は、ゼミ生に依頼し学内で撮影。  
CDジャケット・歌詞カード等の  
デザイン・発注は本活動者一人で行った。

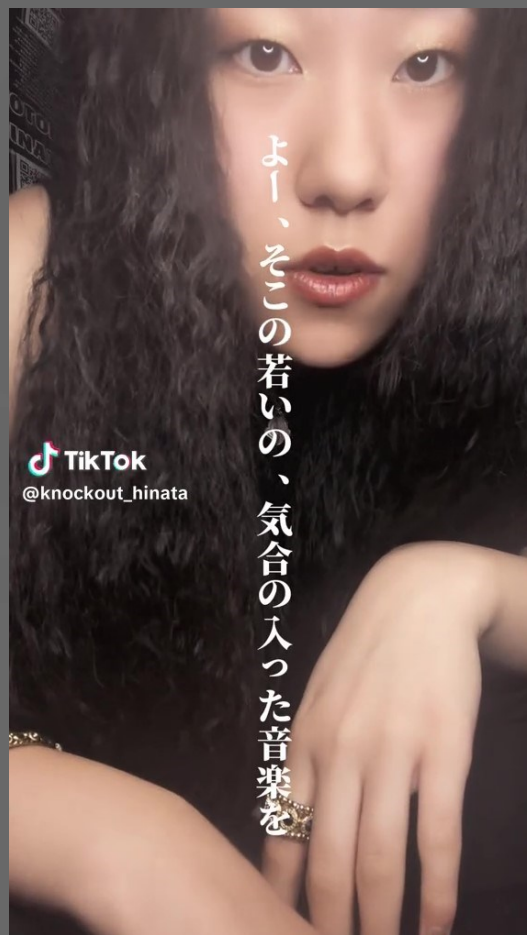
- 楽曲紹介 - (一部抜粋)

「愛してるぜ。馬鹿野郎」作詞・作曲 元根ひなた

弾き語りの強みである”語り”を中心とした一曲。

路上ライブの帰りに見かけた就活生と自分を重ねて書いた楽曲。本活動者は、音楽で生活や性格を変えることはできないと考えている。その代わりに、その人の奥底にあるものを引きだすことはできると考えている。  
聴いてくれた人の心の底にある強さや、気迫を引き出したいという想いで制作した。

## その他の活動



TikTok投稿

「元根ひなた」をより多くの人に  
知ってもらいたいという想いで始めた  
動画投稿。2日に1本のペースで動画を  
投稿している。

- 企画のねらい -

- ・元根ひなたの音楽を知ってほしい
- ・ライブハウスとはどんなところかを  
知ってほしい
- ・ライブに行きたいと思ってほしい
- ・楽曲に込めた想いを伝えたい

ライブの告知を兼ねた投稿が多いが、現状、告知の部分まで視聴を  
続けてもらうことが出来ていない。どうすれば動画を最後まで楽し  
んでご視聴いただけるかを模索中である。楽曲は最初のひと音から  
最後の余韻まで大事につくっているため、一部分を切り取ることに  
は違和感があるが、アーティストとしての考え方とプロモーターと  
しての考え方を切り離し、割り切る勇氣をもって活動をしている。

## 今後の予定

■「Isehara Sounds odd」

2025. 11. 16

いせはらcoma店頭スペース

■下北沢Big Mouth LIVE

2025. 11. 16

■「ExFusion 2025 ～NEWVALUE～」  
2025. 12. 13

■卒業レポート執筆

HP

